

支え合い・助け合い(共助)を重視する人物像 ～地域福祉の担い手を育むヒントを得る～

2019年 北九州市「地域福祉に関する市民意識調査」
集計結果から

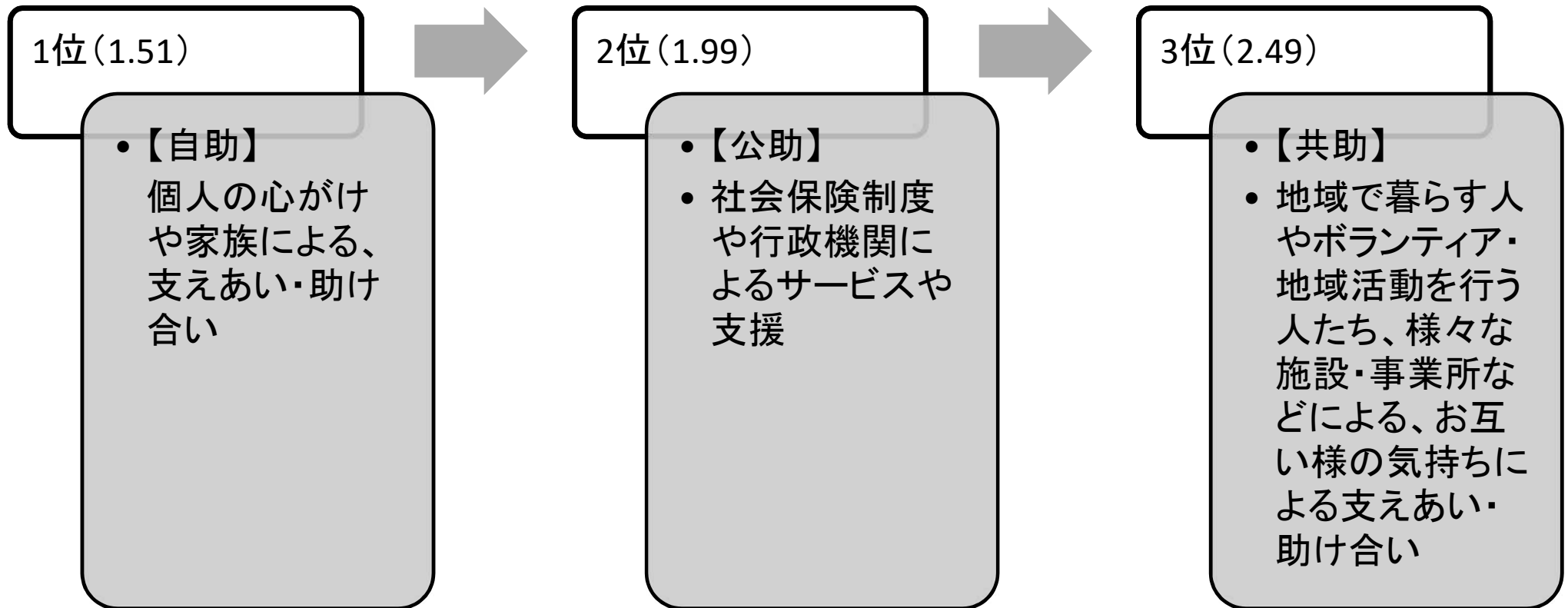
文責:坂本 毅啓(北九州市立大学)

地域における支え合いに関する考え(問4)

- 年齢が下がると、「現在の自分には必要ないが、大切なことだと思う」という回答する割合が高くなる。
- 年齢が下がると、「公的な福祉サービスで対応すべきと思う」という回答する割合が高くなる。

		問4 地域の支え合いへの考え					合計	
		地域における支え合いは必要であり、今後も充実させるべきだと思う	現在の自分には必要ないが大切なことだと思う	行政が対応できない課題はボランティアやNPOに任せたい方がよいと思う	地域の支え合いに頼らずに公的な福祉サービスで対応すべきと思う。	その他		
問15	年齢	20～24歳	度数 22 42.3%	27 51.9%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	52 100.0%
		25～29歳	度数 29 43.9%	27 40.9%	5 7.6%	2 3.0%	3 4.5%	66 100.0%
		30～34歳	度数 36 46.8%	32 41.6%	1 1.3%	6 7.8%	2 2.6%	77 100.0%
		35～39歳	度数 38 39.2%	48 49.5%	2 2.1%	7 7.2%	2 2.1%	97 100.0%
		40～44歳	度数 54 43.5%	53 42.7%	2 1.6%	11 8.9%	4 3.2%	124 100.0%
		45～49歳	度数 70 49.3%	56 39.4%	7 4.9%	7 4.9%	2 1.4%	142 100.0%
		50～54歳	度数 65 46.8%	54 38.8%	4 2.9%	13 9.4%	3 2.2%	139 100.0%
		55～59歳	度数 60 40.8%	53 36.1%	4 2.7%	24 16.3%	6 4.1%	147 100.0%
		60～64歳	度数 68 48.2%	53 37.6%	2 1.4%	17 12.1%	1 .7%	141 100.0%
		65～69歳	度数 92 46.9%	84 42.9%	7 3.6%	10 5.1%	3 1.5%	196 100.0%
		70～74歳	度数 95 50.3%	64 33.9%	4 2.1%	25 13.2%	1 .5%	189 100.0%
		75歳以上	度数 181 57.1%	101 31.9%	6 1.9%	25 7.9%	4 1.3%	317 100.0%
	合計		度数 810 48.0%	652 38.6%	45 2.7%	148 8.8%	32 1.9%	1687 100.0%

住民ができるだけ地域のなかで生活できるようにしていくために大切な力(問7)



年齢別にみた住民が地域の中で生活できるために必要な力

- 住民ができるだけ地域の中で生活できるようにしていくために、自助、共助、公助のどれを最も重視するかを年齢別に集計した。
- 年齢が高いと「自助」を重視する傾向が高まる。
 - 自助＋公助
- 年齢が低くなると「共助」を重視する傾向が高まる。
 - 共助＋公助
- 40歳から59歳の年齢層は、「自助」、「公助」、「共助」のそれぞれに分散する。

問15 年齢		必要な力			合計
		自助重視	公助重視	共助重視	
20～24歳	度数	26	18	7	51
	%	51.0%	35.3%	13.7%	100.0%
25～29歳	度数	34	26	6	66
	%	51.5%	39.4%	9.1%	100.0%
30～34歳	度数	41	27	10	78
	%	52.6%	34.6%	12.8%	100.0%
35～39歳	度数	61	30	7	98
	%	62.2%	30.6%	7.1%	100.0%
40～44歳	度数	76	37	8	121
	%	62.8%	30.6%	6.6%	100.0%
45～49歳	度数	98	30	18	146
	%	67.1%	20.5%	12.3%	100.0%
50～54歳	度数	86	44	9	139
	%	61.9%	31.7%	6.5%	100.0%
55～59歳	度数	81	54	15	150
	%	54.0%	36.0%	10.0%	100.0%
60～64歳	度数	99	37	7	143
	%	69.2%	25.9%	4.9%	100.0%
65～69歳	度数	125	61	14	200
	%	62.5%	30.5%	7.0%	100.0%
70～74歳	度数	130	61	13	204
	%	63.7%	29.9%	6.4%	100.0%
75歳以上	度数	213	92	25	330
	%	64.5%	27.9%	7.6%	100.0%
合計	度数	1070	517	139	1726
	%	62.0%	30.0%	8.1%	100.0%

共助を重視している年齢層は若い傾向

重視する力(6分類)

	平均値	度数	標準偏差
①自助→共助→公助	8.43	413	3.242
②自助→公助→共助	8.10	657	3.129
③公助→共助→自助	8.14	172	3.306
④公助→自助→共助	7.81	345	3.362
⑤共助→自助→公助	7.38	87	3.558
⑥共助→公助→自助	7.92	52	3.229
合計	8.08	1726	3.253

重視する力(3分類)

	平均値	度数	標準偏差
自助重視型	8.23	1070	3.176
公助重視型	7.92	517	3.344
共助重視型	7.58	139	3.437
合計	8.08	1726	3.253

地域福祉の充実に必要な力と支え合いの実感

- 共助を重視する人と、自助→共助→公助を重視する人は、近所の支え合いの実感を感じている。
- 公助を重視する人と、自助→公助→共助を重視する人は、近所の支え合いの実感が乏しい。

			問3 近所の支え合いの実感				合計
			感じる	どちらかとい えれば感じる	どちらかとい えれば感じない	感じない	
自助重視	自助→共助→公助	度数 %	97 23.8%	171 41.9%	90 22.1%	50 12.3%	408 100.0%
	自助→公助→共助	度数 %	84 12.8%	244 37.3%	186 28.4%	141 21.5%	655 100.0%
公助重視	公助→共助→自助	度数 %	25 14.6%	62 36.3%	48 28.1%	36 21.1%	171 100.0%
	公助→自助→共助	度数 %	41 12.1%	128 37.6%	107 31.5%	64 18.8%	340 100.0%
共助重視	共助→自助→公助	度数 %	16 18.4%	26 29.9%	32 36.8%	13 14.9%	87 100.0%
	共助→公助→自助	度数 %	8 15.7%	20 39.2%	14 27.5%	9 17.6%	51 100.0%
合計		度数 %	271 15.8%	651 38.0%	477 27.9%	313 18.3%	1712 100.0%

地域福祉の充実に必要な力と健康状態

- 「共助」を重視する人は、健康状態が「よい」と「よくない」の回答が多い傾向がみられる。
- 「公助」を重視する人は、健康状態が「よくない」傾向がある。

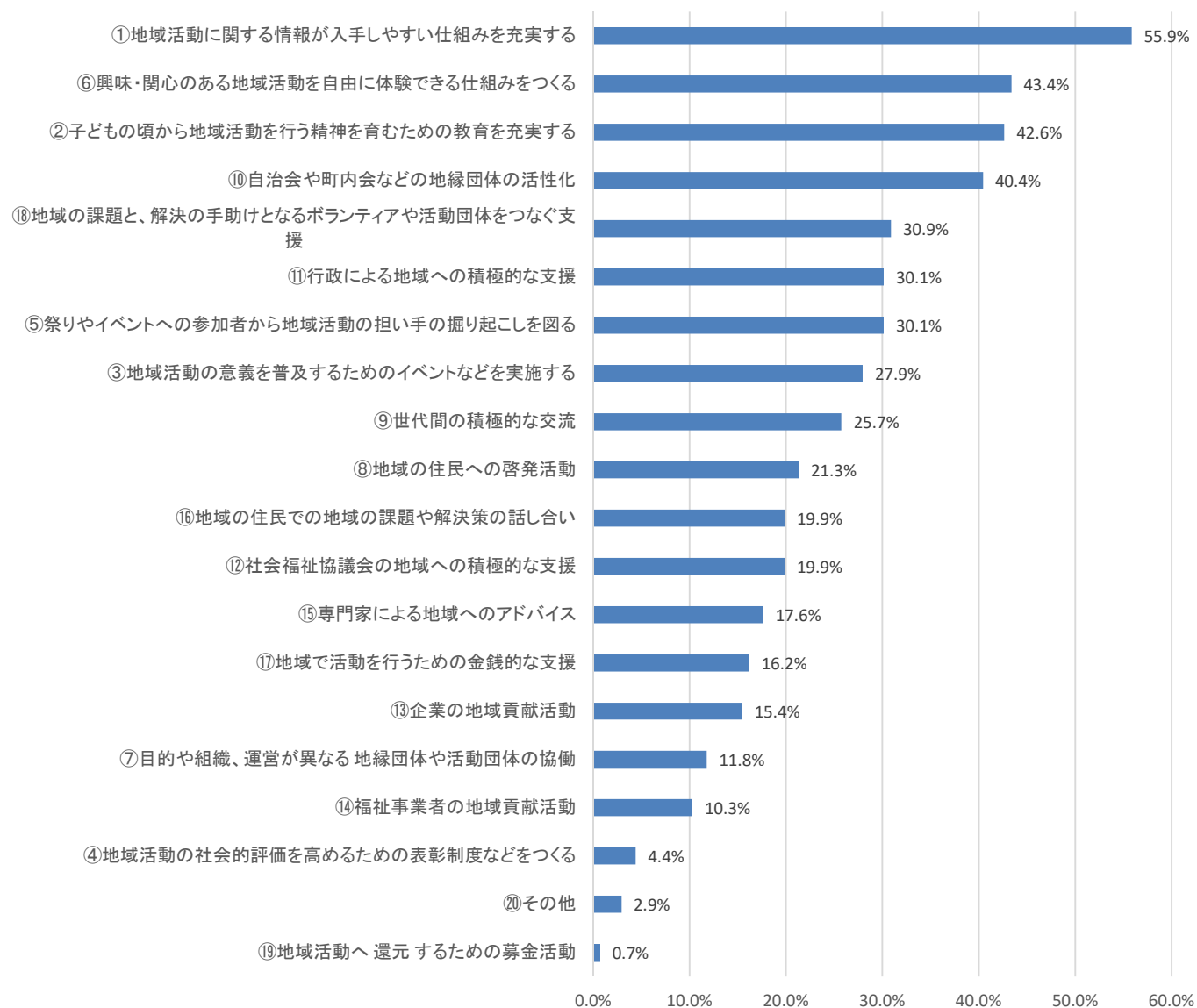
			問23 健康状態					合計
			よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	
自助重視	①自助、共助、公助	度数 %	102 24.9%	90 22.0%	148 36.1%	57 13.9%	13 3.2%	410 100.0%
	②自助、公助、共助	度数 %	151 23.1%	133 20.3%	248 37.9%	102 15.6%	20 3.1%	654 100.0%
公助重視	③公助、共助、自助	度数 %	39 22.7%	33 19.2%	58 33.7%	32 18.6%	10 5.8%	172 100.0%
	④公助、自助、共助	度数 %	61 17.8%	72 21.0%	123 35.9%	77 22.4%	10 2.9%	343 100.0%
共助重視	⑤共助、自助、公助	度数 %	35 40.2%	12 13.8%	31 35.6%	4 4.6%	5 5.7%	87 100.0%
	⑥共助、公助、自助	度数 %	15 28.8%	13 25.0%	17 32.7%	5 9.6%	2 3.8%	52 100.0%
合計		度数 %	403 23.5%	353 20.5%	625 36.4%	277 16.1%	60 3.5%	1718 100.0%

共助を重視する人が、地域活動の活性化に大切だと思うもの

共助を重視するグループは、

- ①「地域活動に関する情報が入手しやすい仕組みを充実する」、
- ⑥「興味・関心のある地域活動を自由に体験できる仕組みをつくる」、
- ②「子どもの頃から地域活動を行う精神を育むための教育を充実する」
- ⑩「自治会や町内会などの地縁団体の活性化

が特に大切であると考えている。

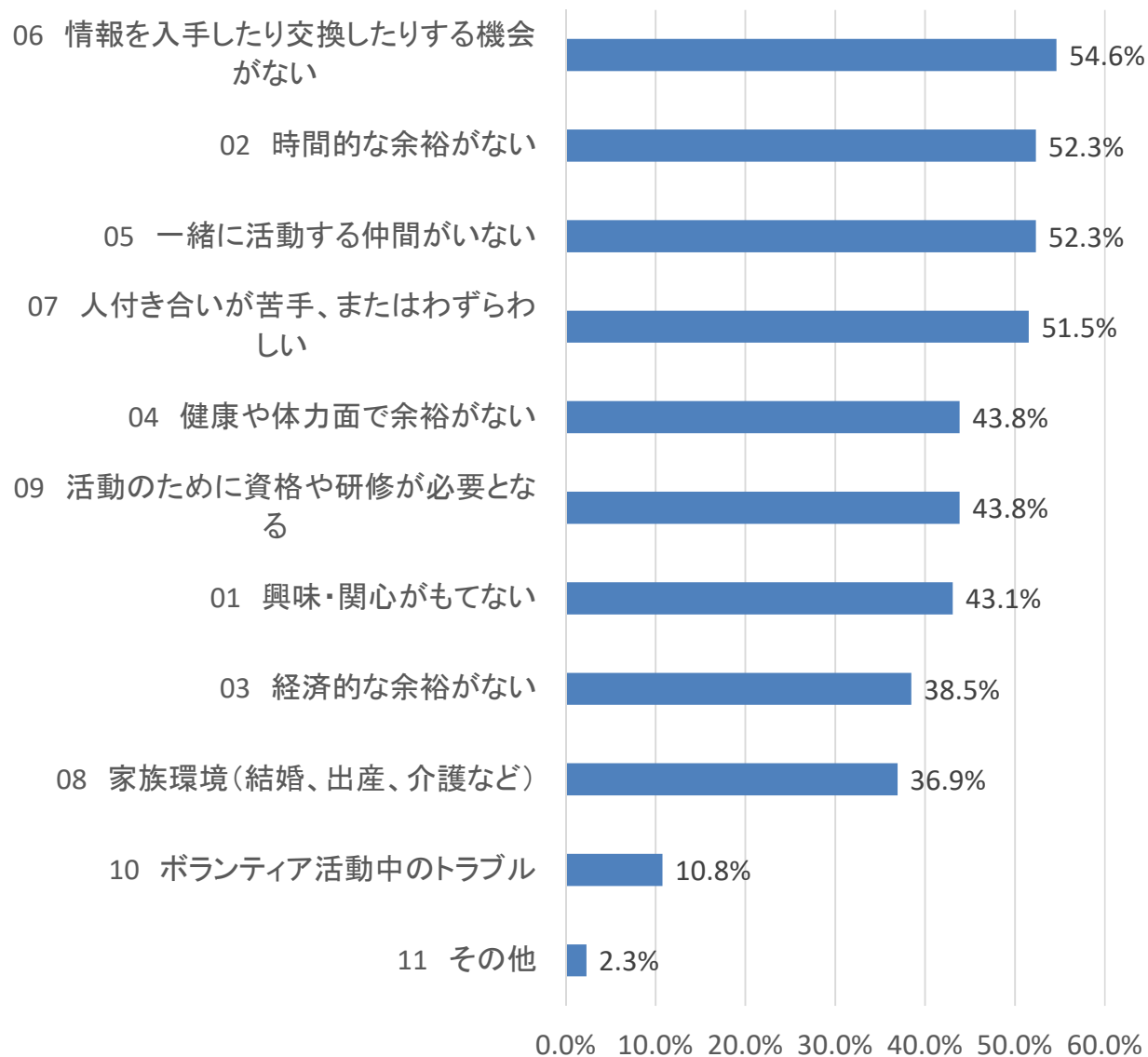


共助を重視する人が思う、ボランティアを始めるときの支障

共助を重視する人は、ボランティアを始めるときの支障となることは

1. 「情報を入手したり交換したりする機会がない」
2. 「時間的な余裕がない」
3. 「一緒に活動する仲間がいない」
4. 「人付き合いが苦手、またはわずらわしい」

だと思っている。

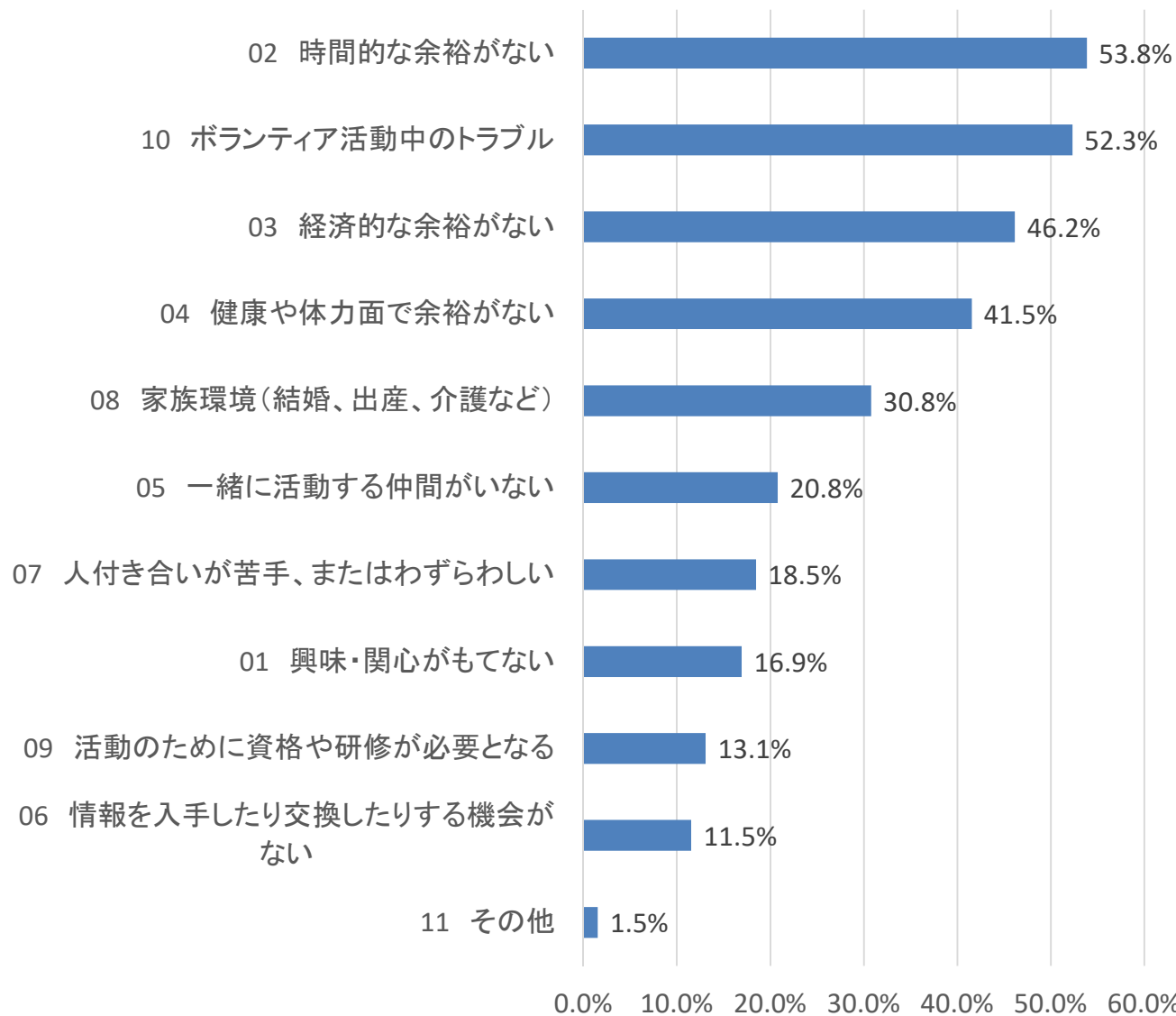


共助を重視する人が思う、ボランティアを続けるときの支障

共助を重視する人は、ボランティアを続けるときの支障となることは

1. 「時間的な余裕がない」
2. 「ボランティア活動中のトラブル」
3. 「経済的余裕がない」
4. 「健康や体力面で余裕がない」

だと思っている。



重視する地域福祉力別に見た長生きすることへの思い

- 共助を重視する人(①、⑤、⑥)は長生きすることを良いことだと思っている割合が多い。
- 公助を重視する人(③、④、⑥)は長生きすることを良いことだと思わない割合が多い。

重視する地域福祉力(6分割)			問30 長生きすることは良いことだと思うか				合計
			とても そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	
自助重視型	①自助→共助→公助	度数 %	92 23.1%	165 41.4%	124 31.1%	18 4.5%	399 100.0%
	②自助→公助→共助	度数 %	125 19.7%	266 41.8%	205 32.2%	40 6.3%	636 100.0%
公助重視型	③公助→共助→自助	度数 %	35 20.7%	56 33.1%	57 33.7%	21 12.4%	169 100.0%
	④公助→自助→共助	度数 %	48 14.8%	124 38.3%	126 38.9%	26 8.0%	324 100.0%
共助重視型	⑤共助→自助→公助	度数 %	21 25.0%	36 42.9%	22 26.2%	5 6.0%	84 100.0%
	⑥共助→公助→自助	度数 %	8 16.0%	22 44.0%	16 32.0%	4 8.0%	50 100.0%
合計		度数 %	329 19.8%	669 40.3%	550 33.1%	114 6.9%	1662 100.0%

共助が重要だと考えている人物像①

- 比較的年齢層は若い。
- 近所の支え合いを実感している。
- 健康状態は「よい」人と「よくない」人に2つに分かれる。
- 地域活動を活性化するためには、①「地域活動に関する情報が入手しやすい仕組みを充実する」、⑥「興味・関心のある地域活動を自由に体験できる仕組みをつくる」、②「子どもの頃から地域活動を行う精神を育むための教育を充実する」、⑩「自治会や町内会などの地縁団体の活性化」が大切だと考えている。

共助が重要だと考えている人物像②

- ボランティアを始める上で支障となることは、「情報を入手したり交換したりする機会がない」、「時間的な余裕がない」、「一緒に活動する仲間がない」、「人付き合いが苦手、またはわずらわしい」といったことを挙げている。
- ボランティアを続けるうえで支障となることは、「時間的な余裕がない」、「ボランティア活動中のトラブル」、「経済的余裕がない」、「健康や体力面で余裕がない」といったことを挙げている。
- 長生きは良いことだと思う人が多い。

その他：行われているボランティア活動

	因子			
	1	2	3	4
10 自然や環境を守るための活動	0.686	0.185	0.097	-0.051
7 まちづくりのための活動	0.632	0.159	0.122	0.287
9 美化や清掃に関係した活動	0.579	0.12	0.112	0.121
8 安全な生活のための活動	0.567	0.223	0.145	0.201
11 災害に関係した活動	0.423	0.124	0.176	0.105
1 健康や医療サービスに関係した活動	0.165	0.673	0.049	0.071
3 高齢者を対象とした活動	0.292	0.505	0.036	0.222
2 食生活改善に関係した活動	0.177	0.496	0.078	0.065
4 障害のある人を対象とした活動	0.094	0.421	0.048	0.22
14 人権に関係した活動	0.146	0.075	0.731	0.152
13 男女共同参画に関係した活動	0.148	0.298	0.614	0.049
12 国際協力に関係した活動	0.12	0.158	0.282	0.074
15 その他	0.022	-0.054	0.141	0.017
5 子どもを対象とした活動	0.191	0.139	0.128	0.585
6 教育や生涯学習に関係した活動	0.147	0.295	0.178	0.485

- 行われているボランティア活動は大きく4つの領域に分けることが可能。

- ① 自然に関わる活動
- ② 健康・福祉にかかわる活動
- ③ 人権、平等に関わる活動
- ④ 子どもや教育に関わる活動

生活の困窮、家族の介護、子どもの養育は人に頼りにくい

		因子		問29 頼れる人の存在					合計
		1	2	頼れる人が いる	いない	そのこと では人に頼ら ない	頼れる人は いるが、 今は人に 頼らない	頼る人はい ないし、 そのこと では人に頼ら ない	
頼りやすいこと	喜びや悲しみを分かち合うこと	0.735	-0.346	93.4	3.3	3.3			100.0
	愚痴を聞いてくれること	0.676	-0.272	90.5	3.6	5.8	0.1		100.0
	重要な事がらの相談	0.614	-0.205	90.8	5.0	4.1		0.1	100.0
	日頃のちょっとしたことの手助け	0.588	-0.006	85.3	5.3	9.1	0.2		100.0
	災害時の安否確認や避難介助	0.583	0.044	89.7	7.2	3.1			100.0
頼りにくいこと	成年後見人・保佐人・補助人を頼むこと	0.559	0.464	68.2	16.4	15.1	0.2	0.1	100.0
	家を借りる時の保証人を頼むこと	0.53	0.425	74.0	8.6	17.0	0.4	0.1	100.0
	いざという時のお金の援助	0.51	0.182	69.3	10.0	20.0	0.4	0.3	100.0
	子ども以外の介護や看病	0.498	0.154	73.0	18.1	8.4	0.4	0.1	100.0
	子どもの世話や看病	0.452	0.198	69.2	16.1	14.4	0.2	0.1	100.0
平均				80.3	9.4	10.0	0.3	0.1	100.0

因子抽出法: 最尤法 a 2 個の因子が抽出されました。4 回の反復が必要です。

今後も、本調査データの分析を進めていく予定です。

**簡単ですが、報告は以上です。
ありがとうございました。**